

第5・6学年国語科授業プランニングノート【読むこと】

【資料2】

月 日 () No.

単元名

教材名

指導事項

読むことの領域の学び

音読	ア 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。	月	指導事項	単元名または教材名
効果的な読み方	イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。	月	ア イ ウ エ オ カ	
説明的な文章の解釈	ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりにすること。	月	ア イ ウ エ オ カ	
文学的な文章の解釈	エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。	月	ア イ ウ エ オ カ	
自分の考えの形成及び交流	オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。	月	ア イ ウ エ オ カ	
目的に応じた読書	カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。	月	ア イ ウ エ オ カ	
		月	ア イ ウ エ オ カ	
		月	ア イ ウ エ オ カ	
		月	ア イ ウ エ オ カ	

単元目標（児童に付けたい力）

単元の評価規準

○	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能

指導の工夫（三つの視点）

主体的な学び	対話的な学び	深い学び
○	○	○

単元構想



単元で取り組む言語活動	時間	評価	学習活動	指導の工夫
	第一次			
	第二次			
	第三次			
	第四次			

学習計画表

名前（

）

おすすめフリップで物語の魅力を伝え合おう

								学習のめあて
								学習形態
								ふり返り
								チェック
8	7	6	5	4	3	2	1	
魅力「自分が選んだ物語」の魅力を友達と伝え合おう。	自分が選んだ物語の魅力を伝えよう。	「風切るつばさ」の魅力を友達と伝え合おう。	物語の魅力が伝わるキャラクターを描いたりして、おすすすめフリップを完成させよう。	一番心に響いた場面から、印象に残った表現を見つけた理由をまとめよう。	クルルやカララの心情の移り変わりを読み取る。	登場人物の相互関係をとらえ、人物関係にまとめよう。	学習計画表をもとに、単元の見通しをもとう。	
 グループ		 グループ		 ペア	 ペア			

学習が終わったら、ふり返りをしましょう。

アクティブ・ラーニング

自己評価シート

年 組 番
名前



第 回 (月) 小学校高学年版

◎ この評価シートは、自分が学校の授業にどのように取り組んでいるかをふり返るものです。それぞれの項目の4～1の数字のあてはまるところに、一つずつ○をつけましょう。

4 : とてもあてはまる 3 : 少しあてはまる 2 : あまりあてはまらない 1 : まったくあてはまらない

1 自分から進んで取り組む力(主体力)

- ① 目標 自分にとってふさわしい目標やめあてを決めて学習しています。 4—3—2—1
- ② 積極性 グループやクラスでの話し合いの時に、自分の考えや意見を積極的に出しています。 4—3—2—1
- ③ 実行 グループや自分で決めた計画にそって、すすんで調べたり作ったり発表しています。 4—3—2—1

2 友だちと協力する力(協働力)

- ④ 対話 自分の意見やアイデアを友だちに納得してもらえるように説明し合っています。 4—3—2—1
- ⑤ 協力 グループワークの時に、友だちと協力して課題やめあてに取り組んでいます。 4—3—2—1
- ⑥ 繰り返し 友だちのよいところやアドバイスを生かし合って、よりよい考えや作品を作っています。 4—3—2—1

3 自分らしく表現する力(創造力)

- ⑦ 発想 新しいアイデアや工夫はないかと、いつも自分で考えるようにしています。 4—3—2—1
- ⑧ 個性 自分らしい考えを生かして文章を書いたり発表をしたりしています。 4—3—2—1
- ⑨ 質問 「なぜだろう?」「おかしいな?」「どうしてかな?」と、いつも質問を考えています。 4—3—2—1

4 自分で決める力(決定力)

- ⑩ 思考 資料やデータにもとづいて、自分でわけや理由を深く考えています。 4—3—2—1
- ⑪ 決定 どんな方法で学ぼうかどんな発表をしようかなど、自分の考えで決めています。 4—3—2—1
- ⑫ 時間 時間をむだにしないように、自分で時間を決めたり計ったりして学んでいます。 4—3—2—1

5 問題を解決する力(解決力)

- ⑬ 解決 どうすればこの問題が解けるだろうかと、いろいろと考えを出しています。 4—3—2—1
- ⑭ 活用 新しいことを学ぶときに、これまでに知っていることやできることを使っています。 4—3—2—1
- ⑮ 調査 自分でアンケートやインタビュー、現地調査などをして調べています。 4—3—2—1

6 自分を伸ばす力(成長力)

- ⑯ 改善 自分の学習のしかたを反省し、よりよい学習のしかたを考えて実践しています。 4—3—2—1
- ⑰ 評価 自分に足りない力は何か、もっとどんな力をつければよいかといつも考えています。 4—3—2—1
- ⑱ 努力 自分の得意なことを伸ばし、苦手なことをなくすよう努力しています。 4—3—2—1

6年 組 番 氏名 ()

この単元の学習の感想を教えてください。

(分かったこと、できるようになったこと、楽しかったこと、次にやってみたいことなど)

第5・6学年国語科授業プランニングノート【読むこと】

【資料5】

10月3日(火) No. 2

単元名 命について考えたことを伝えよう
-シリーズ本を読んで、自分の考えを書く-

教材名 ・「海のいのち」(東京書籍・6年)
・『山のいのち』立松和平・著
その他、いのちシリーズの本

指導事項

読むことの領域の学び

音読	ア 自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。	月	指導事項	単元名または教材名
効果的な読み方	イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。	4月	ア イ ウ エ オ カ	サボテンの花(物語)
説明的な文章の解釈	ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりにすること。	4月	ア イ ウ エ オ カ	生きる(詩)
文学的な文章の解釈	エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。	5月	ア イ ウ エ オ カ	図書館へ行こう
自分の考えの形成及び交流	オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。	5月	ア イ ウ エ オ カ	イースター島にはなぜ森林がないのか(説明文)
目的に応じた読書	カ 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。	6月	ア イ ウ エ オ カ	風切るつばさ(物語)
		7月	ア イ ウ エ オ カ	新聞の投書を読み比べよう(説明文)
		7月	ア イ ウ エ オ カ	本は友達
		9月	ア イ ウ エ オ カ	いま始まる新しいいま(詩)
		10月	ア イ ウ エ オ カ	海のいのち(物語)

単元目標(児童に付けたい力)

単元の評価規準

○指導事項エ ・優れた叙述について自分の考えをまとめる。 ○指導事項オ ・自分の考えを広げたり深めたりする。 ●成長力(自分を伸ばす力) ・よりよい学習の仕方を考えて実践する。 ・自分に足りない力、付けるべき力を考える。 ・得意なことを伸ばし、苦手なことをなくす。	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
	・「海のいのち」と「山のいのち」を比べて読むことを通して、命に対する自分の考えをもち、意欲的にミニ論文を書こうとしている。	・「海のいのち」「山のいのち」における登場人物の相互関係や心情描写などの優れた叙述を捉え、物語の主題について自分の考えを書いている。(エ) ・「海のいのち」「山のいのち」を読んで考えたことを発表し合い、命に対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(オ)	・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもち、物語を象徴するような一文を書き抜いている。イ(カ)

指導の工夫(三つの視点)

主体的な学び	対話的な学び	深い学び
○学習の見通しをもつ。 ・学習計画表 ・教師モデル ○並行読書 シリーズ本「山のいのち」を読む。 ○ミニ論文を友達と伝え合う。	○教師との対話 ・教師モデルを参考に、ミニ論文を書く。 ○児童との対話 ・学習課題について、グループで話し合う。 ○本の作者との対話 ・いのちシリーズ(立松和平)の本や「山のいのち」を読む。	○学習課題づくり ・本文から学習課題を考える。 ・学習課題についてグループで考える。 ○自己評価 ・教員が毎時間「評価基準」を児童に示し、評価の具体について共有する。 ○ミニ論文を書く。 ・命について考えをことをミニ論文に書く。

単元構想

単元で取り組む言語活動 命について考えたことを伝えよう	時間	評価	学習活動	指導の工夫
	第一次	〔関〕 命について考えながら、「海のいのち」と「山のいのち」を進んで読んでいく。	●学習の見通しをもつ。 ○学習計画表を基に、単元の見通しをもつ。 ○教師モデルを紹介し、取り組む言語活動について知る。 ○『山のいのち』を読み聞かせを聞く。	・学習計画表を作る。 ・教師モデルを作成する。 ・シリーズ本を用意し、「山のいのち」を読み聞かせる。
	第二次	〔読エ〕 「海のいのち」における登場人物の相互関係や心情描写などの優れた叙述を捉え、物語の主題について自分の考えを書いている。	●「海のいのち」を通して命について考える。 ○「海のいのち」を読んで学習課題を考える。 ○登場人物の人物相関図を書く。 ○印象に残った一文をその理由を書く。 ○学習課題についてグループで話し合う。	・本文から学習課題を考える。 ・教員が毎時間「評価基準」を児童に示し、評価の具体について共有する。 ・学習課題についてグループで考える。
	第三次	〔読エ〕 「山のいのち」における登場人物の相互関係や心情描写などの優れた叙述を捉え、物語の主題について自分の考えを書いている。	●「山のいのち」を通して命について考える。 ○「山のいのち」を読んで学習課題を考える。 ○学習課題についてグループで話し合う。	・本文から学習課題を考える。 ・学習課題についてグループで考える。
第四次	〔読オ〕 「海のいのち」「山のいのち」を読んで考えたことを発表し合い、命に対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 〔関〕 命に対する自分の考えを意欲的にミニ論文に書こうとしている。	●命について考えたことをミニ論文に書く。 ○前時までの学習を基にミニ論文を書く。 ○ミニ論文を読み合い、感想を伝え合う。	・教師モデルや前時までのワークシート等を参考に、ミニ論文を書く。 ・ミニ論文を友達と伝え合う。	